

2003 年度 東京蜘蛛談話会 11 月例会

- 1.日時 2003 年 11 月 30 日(日) 10 時より(開場 9 時 30 分)
- 2.場所 東京環境工科専門学校 〒150-0011 東京都渋谷区東 2-5-3
「JR 渋谷駅」東口(東急文化会館側)より、「学 03 日赤医療センター行」バスにて約 5 分、
「國學院大學前」下車、徒歩 1 分、170 円
- 3.連絡 当日、東京環境工科専門学校の電話が使用できないので、緊急時には以下に連絡ください。
加藤輝代子 090-7012-6458 初芝伸吾 090-6156-8378
- 4.その他 プロジェクター、OHP 等用意いたします。
- 5.同封のはがきで、氏名、連絡先、出欠、講演の有無、講演ありの場合には演題と使用希望機材(スライド、OHP、コンピュータ)をお知らせください。また、近況をお知らせいただけると幸いです。また、はがき以外の手段で下記にご連絡いただいてもけっこうです。

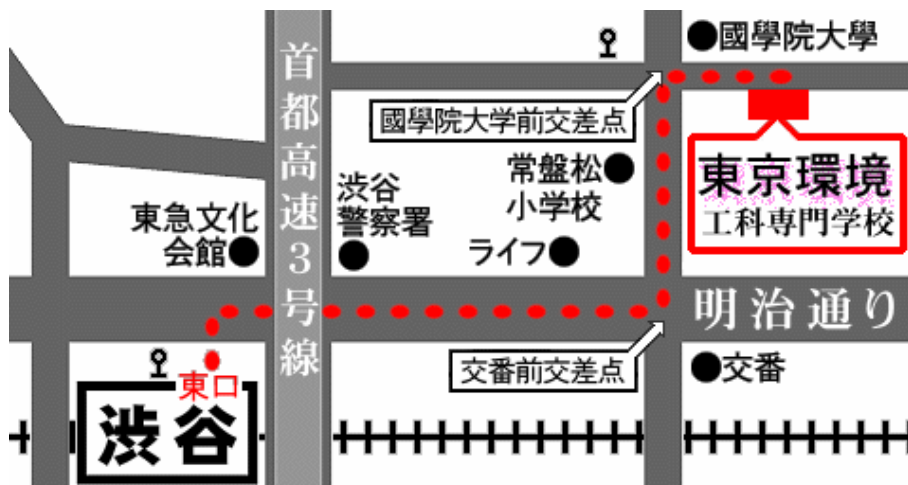
〒186-0002 東京都国立市東 3-11-18 201 有限会社 エコス

初芝伸吾

mail hatsushiba-ecosys@h8.dion.jp

Tel : 042-501-2651 Fax:042-501-2652

- 今回から会場が変更になります。ご注意ください。
- 渋谷駅東口から徒歩 15 分です 坂道がありますので バスを利用した方がよろしいかと思います。
- 東京環境工科専門学校及びその周辺には駐車場ありません。



2003 年度採集観察会

1. 期 日 第 3 回 10 月 19 日 (日) 第 4 回 2 月 15 日 (日)
談話会の観察採集会は晴雨にかかわらず実施します .
2. 場 所 さいたま緑の森博物館 (埼玉県入間市 , 所沢市)
3. 集 合 西武池袋線小手指駅南口 10 時 10 分 (10 時 30 分出発)
4. 世話人 今井正巳 , 谷川明男
5. 問い合わせ先
今井正巳 〒229-0038 相模原市星が丘 1-5-5 Tel 042-755-3086
E-mail 0413441701@jcom.home.ne.jp
6. その他 バスが 1 時間に 2 本程度しかありません . 10 : 30 10 : 50
昼食は事前に用意してください .

さいたま緑の森 5 月観察会に参加して

永井亜紀 (談話会歴・3 年目に入りました)

私は生物のことも植物のこともよく知らず , ただのクモ好き . 観察会でも , クモの種類が全然わからないので , まわりの人に聞いてばかりです .

最近 , 気になっているのはヤマシロオニグモ . 私が初めてヤマシロオニグモをみたのは , 2001 年夏の談話会合宿 (立山) の時で , アトグロ型 ♀ をみたのです . それを「ヤマシロオニグモ , ヤマシロオニグモ」と , がんばって記憶したため , アトグロ型じゃないのを見ても , いっこうにヤマシロオニグモだとは思えません . 今回も丸っこいオニグモ系を見かけて「これ何ですか ? 」と聞き , 何度も「ヤマシロオニグモ」という答えが返ってきました . 黄色っぽいのもいれば , 茶色っぽいのもいて , 色にだまされてはいけないということはわかりましたが , 当分 , Q「これ何 ? 」→ A「ヤマシロ」ということが続きそうな感じがします . 聞かれる皆さま , あしからず .



目下、目利き修行中のヤマシロオニグモ

今回見たクモで印象に残っているのは、カラオニ♂。♀とあまりに違うので、ビックリしました。どうしてあんなに違うのに一対の♀♂であるということがわかるの？というのが不思議。それから、いつもとは色が違うワカバグモに出会い、「それは♂」と教えてもらいました。

そのワカバグモのそばでは、立派なアリグモがエサを食べているのにも出会いました。シロスジショウジョウグモの赤色フタホシ型も見かけましたが、私はまだ、赤色フタホシ型以外のシロスジショウジョウグモを見たことがないので、シロスジショウジョウグモというと赤色フタホシ型が思い浮かんでしまいます。ここでもまた前述のヤマシロオニグモ的状况が発生しているのです。

午後になって雲行きが怪しくなり、そろそろ引き上げようかという頃、お茶の葉の裏にいるトリノフンダマシの幼体を加藤輝代子さんが見つけたのです！ゴマ粒より小さかったような気がします。そんなのを見つけちゃう加藤さんにもビックリしましたが、次回の観察会がとっても楽しみ！と今から心躍らせているのです。



色の違い、白黒じゃわかんないか...



アリグモは食事中

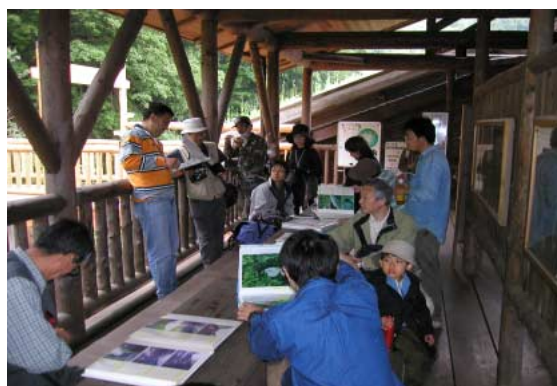
談話会 2003 年度観察採集会 5 月 7 月の回で観察されたクモ

(作成：今井正巳)

5 月 11 日

アオオニグモ アオオビハエトリ アサヒエビグモ アシナガグモ アシナガサラグモ
アシヨレグモ アズチグモ アマギエビスグモ イオウイロハシリグモ イズツグモ イ
ナダハリグコモリグモ ウデブトハエトリ ウラシマグモ ウロコアシナガグモ エビチ
ャコモリグモ オオシロカネグモ オオヒメグモ オナガグモ オニグモ カバキコマチ
グモ カラオニグモ カラスハエトリ カラフトオニグモ キザハシオニグモ キハダエ
ビグモ キハダカニグモ キレワハエトリ キンイロエビグモ ギンメッキゴミグモ ク
サグモ クマダハナグモ クロココモリグモ コガネグモ コクサグモ コジャバラハエ

トリ コシロカネグモ ゴミグモ コムラウラシマグモ ジグモ シッチコモリグモ シ
 ボグモ シモフリミジグモ シロカネイソウロウグモ シロスジショウジョウグモ セ
 マルトラフカニグモ センショウグモ チクニエビスグモ チャイロアサヒハエトリ チ
 ュウガタコガネグモ チリイソウロウグモ ツリガネヒメグモ デーニッツハエトリ ト
 ガリアシナガグモ トビジロイソウロウグモ ニセンヒメグモ ネコグモ ネコハエトリ
 ネコハグモ ハツリグモ ハナグモ バラギヒメグモ ハラダカツクネグモ ハンゲツオ
 スナキグモ ヒシガタグモ ヒノマルコモリグモ ヒラタグモ フクログモ ヘリジロサ
 ラグモ ホシミドリヒメグモ マネキグモ マミジロハエトリ ミヤグモ ムツボシヒメ
 グモ ムナボシヒメグモ メガネアサヒハエトリ メガネドヨウグモ メキリグモ ヤエ



5月11日のクモあわせ

ンオニグモ ヤサアリグモ ヤドカリ
 グモ ヤハズハエトリ ヤバネウラシ
 マグモ ヤマジグモ ヤマジドヨウグ
 モ ヤマシロオニグモ ヤマトカナエ
 グモ ヤミイロカニグモ ヤリグモ
 ユウレイグモ ユウレイグモ ユノハ
 サラグモ ヨダンハエトリ ヨツデゴ
 ミグモ ワカバグモ ワキグロサツマ
 ノミダマシ 以上 95 種

7月13日

アシナガグモ アシナガサラグモ アズチグモ アズマキシダグモ イシサワオニグモ
 イタチグモ イナダハリゲコモリグモ ウズキコモリグモ ウロコアシナガグモ オオヒ



7月13日に行われたクモ合戦の
 デモンストレーション

メグモ オナガグモ カグヤヒメグモ
 カバキコマチグモ キザハシオニグモ
 キノボリトタテグモ キバラコモリグ
 モ キララシロカネグモ キレワハエ
 トリ ギンメッキゴミグモ キンヨウ
 グモ クロコモリグモ コガタコガ
 ネグモ コクサグモ コゲチャオニグ
 モ コジャバラハエトリ コハナグモ
 ゴミグモ ササグモ サツマノミダマ
 シ ザラアカムネグモ ジグモ シッ
 チコモリグモ シボグモ シモフリミ
 ジグモ ジョロウグモ シロオビト
 リノフンダマシ シロスジショウジョ

ウグモ セマルトラフカニグモ センショウグモ チャイロアサヒハエトリ チュウガタ
コガネグモ チリイソウロウグモ デーニッツハエトリ トビジロイソウロウグモ トラ
フカニグモ ハナグモ ハナサラグモ ハリゲコモリグモ? ビジョオニグモ ヒノマル
コモリグモ ヒメカラスハエトリ ヒメグモ ホシミドリヒメグモ マネキグモ マミジ
ロハエトリ マルツメオニグモ ミヤグモ ムツボシオニグモ メガネヤチグモ ヤサア
リグモ ヤドカリグモ ヤハズハエトリ ヤバネウラシマグモ ヤマジグモ ヤマジドヨ
ウグモ ヤマシロオニグモ ヤマトカナエグモ ヤミイロカニグモ ヤリグモ ユウレイ
グモ ユウレイグモ ユノハサラグモ ヨダンハエトリ ヨツデゴミグモ ワカバグモ
ワキグロサツマノミダマシ 以上 76 種

糠平合宿に参加して

池 田 博 明

今年の談話会の合宿は日本蜘蛛学会大会糠平大会に合わせて、8月20日(水)から22日(金)までの予定で行われた。私は野暮用のため、21日夜からの参加であった。帯広空港に到着する飛行機が40分ほど遅れたため、帯広駅発12時台のバスには乗りそこね、14時15分発に乗ったため、糠平に到着したのは16時40分頃だった。同じ飛行機で来た小野展嗣さんは帯広宿泊で、同行者は加藤輝代子さん、加藤倫之君、徳本洋さん。帯広駅ではみなさんとゆっくりお茶を楽しみました。

帯広から車窓には、畑と牧場が続いていた。その風景がトンネルを過ぎたと思ったら突然、町になった。糠平であった。東大雪国立公園の一角、上士幌町に属する温泉町である。

宿舎は糠平館観光ホテル。まち一番のホテルのようである。部屋には既に木村知之さんが入っていた。本日の午後は、昨日から参加している談話会会員の人々は標高の高い三股付近に観察に行ったようだ。ホテルに帰って来た伴満さんから聞いた言葉は、「北の珍しいクモは全部見れました」ということであつた。キバナオニグモ、アカオニグモ、ニワオニグモ、マユミオニグモ、マツダタカネオニグモ、ヤバネハエトリなどなど。参加が一日遅れてしまって、私は取り返しのつかない損をしたような気持ちになった。

夕食時に食堂に二十人ほどの談話会の方々がそろつと圧巻であつた。食事はケガニが出た。量が多くて食べるのが大変であつた。

恒例の夜間観察は宿舎付近の糠平小学校



キバナオニグモ

近くの林道．最初はタイリクサラグモしか目につかなかったが，さすがに会員の目は肥えている．徐々に種数が増えていった．新村誠さんが見つけたヒメハナグモ（幼体）を私は初めて見た．赤いスジが印象的なクモである．神社の階段付近の円網にギンメッキゴミグモかと思ったら，すかさず新海栄一さんが「クマダギンナガゴミグモです」と．ニワオニグモとイシサワオニグモを比べたり，樹幹にムレサラグモを見たり，エゾガケジグモを見たりと，北海道らしいクモが次々に登場して，最終的にクモ合わせ（八幡明彦さん担当）をしたら，なんと 40 種にもなった．北海道をほとんど満遍なく踏破した新海栄一さんの同定力のお蔭である．

9 時頃，ホテルへ戻って，風呂へ入る．男女別の風呂のほか，露天風呂は混浴であった．東北の奥羽山脈沿いの温泉地も混浴は普通で，珍しいことではない．湯煙のなかでは，邪念も無くなってしまうのが不思議である．もっとも，私は湯船では女性とは出会わなかったが．

翌 22 日（金）午前は車に分乗して幌加駅跡へ．運転手の方（新海・初芝・谷川）は私たちをピストン往復で運んで下さった．レンタカーでホテルにきた鶴崎展巨さんも急遽，みなさんを運んで下さった．

幌加駅跡には昭和 62 年に廃線となった土幌線の線路跡が残っていた．この秋に観光でトロコ列車を走らせる計画があり，ポイント切り換えを補修中だと聞いた（NHK・TV の小さな旅・上土幌町より）．建物の壁に大きなマユミオニグモがいて，あらためてその大きさと腹背模様の精妙さに驚いた．林道沿いの草地は，キバナオニグモの宝庫であった．ときどきアカオニグモが混在している．キバナオニグモには横糸数の少ない網と多い網の二型があるように思った．葉裏で卵のうを守るカレハヒメグモに似たクモも観察した．加藤倫之君はエゾシカの頭骨をふくむ骨を拾った．12 時 30 分にお弁当を食べて，再びピストン往復でホテルへ戻った．とりあえず，この日の昼までで晴天に恵まれた談話会合宿は

終了であり，午後は糠平温泉文化ホールで，日本蜘蛛学会大会の会場準備等のお手伝いであった．

合宿で幹事を務められた新海明さん，谷川明男さん，甲野涼さん，初芝伸吾さん，ありがとうございました．

東京蜘蛛談話会合宿に引き続いて，日本蜘蛛学会大会も切り盛りされた松田まゆみさんには大変お世話になりました．改めて御礼申しあげます．

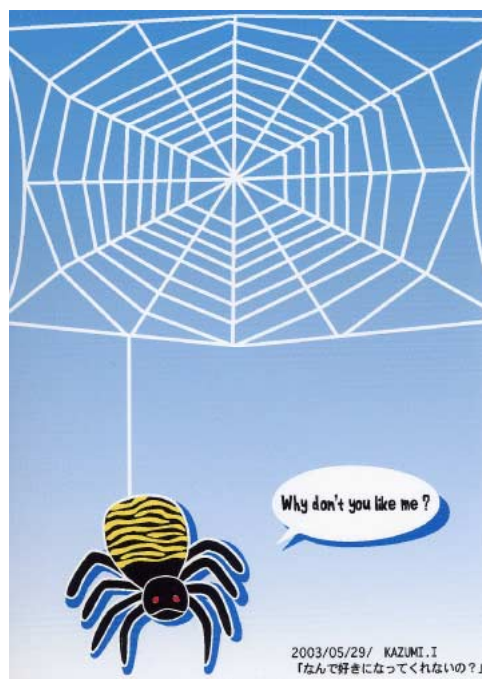
糠平はクモ以外にもいろいろと楽しみのある町であった．文化ホールの近くにある「ひがし大雪博物館」は朝 6 時から開館していた．



マユミオニグモ

ます。

アオグロハシリグモ アカオニグモ アマギエビスグモ アミメサラグモ イシサワオニグモ イツツグモ イナズマウラシマグモ イナズマクサグモ ウススジハエトリ ウスリーハエトリ ウツキコモリグモ エゾアシナガグモ エゾウスグモ エゾガケジグモ エゾコモリグモ エゾトタテグモ エゾナミハグモ エゾホラヒメグモ オオツリガネヒメグモ オオヒメグモ オニグモ カタハリウズグモ カニミジグモ カラフトオニグモ カラフトコモリグモの一種 キザハシオニグモ キタドヨウグモ キヌキリグモ キバナオニグモ キンカタハリオニグモ キンヨウグモ クマダギンナガゴミグモ コガネエビグモ コケヒメグモ コシロブチサラグモ コハナグモ サザナミサラグモ サンロウドヨウグモ シボグモモドキ シモフリヒメグモ シモフリミジグモ シラホシコゲチャハエトリ シロスジショウジョウグモ シロタマヒメグモ スジシャコグモ セアカヒメグモ ダイセツコモリグモ タイリクサラグモ タイリクユウレイグモ タカネエビスグモ タカネコモリグモ タカネヒメグモ タカユヒメグモ チクニエビスグモ チャイロアサヒハエトリ チリコモリグモ デーニッツハエトリ ドヨウオニグモ ナカムラオニグモ ナミハガケジグモ ニワオニグモ ハナグモ ハナサラグモ ハラビロアシナガグモ ハンモックサラグモ ヒメハナグモ フタスジサラグモ フタスジヒメグモ ブチエビグモ ペテガリナミハグモ ホオジロハエトリ ボカシミジグモ マツダタカネオニグモ マユミオニグモ マユミオニグモ マルコブオニグモ ミドリアシナガグモ ムツボシオニグモ ムレサラグモ モリコモリグモ ヤガタフクログモ ヤマキレアミグモ ヤマジサラグモ ヤリグモ ユノハマヒメグモ ヨツボシサラグモ ヨツボシワシグモ ワカバグモ



by 井出和美

東京蜘蛛談話会の会費は

一般 3800 円，学生 2000 円です。

郵便振替口座 00170-8-74885

東京蜘蛛談話会へお願いします。

会計担当は安田明雄 226-0011 横浜市

緑区中山町 329-1 中山駅前ハイツ 1-506

E-mail : kobato@gol.com

入退会は，

事務局：初芝伸吾 186-0002 東京都国立市

東 3-11-18-201 (有)エコシス

E-mail :

hatsushiba-ecosys@h8.dion.ne.jp

通信原稿投稿先：谷川明男 248-0025 鎌倉市

七里ガ浜東 2-3-1 県立七里ガ浜高等学校

E-mail : dp7a-tnkw@j.asahi-net.or.jp

KISHIDAIA 原稿投稿先：池田博明 258-0018

足柄上郡大井町金手 1099

E-mail : fwgd9084@mb.infoweb.ne.jp

ハリー・ポッターはクモを恐らない

池 田 博 明

映画『ハリー・ポッターと秘密の部屋』（2002）は、クモが登場する映画としては大変に重要な、ある意味では困った1本であった。魔法使いスリザリンの遺した秘密の部屋を探るハリー・ポッターは、友人のロンと共に、手がかりを求めて、森番のハグリッドに接近します。

ところがハグリッドはハリーたちの目の前で無実の罪で逮捕されてしまいます。彼が言い残した言葉は「クモの後を追え」でした。クモがまるで軍隊アリの集団のように連なって歩いています。シャカシャカと歩く音さえします。

二人はこのクモの後を追います。するとクモは入ることを「禁じられた森」に入っていきます。心細くなったロンは「戻ろう」と提案しますが、ハリーは「行こう」と先へ先へと進みます。

とうとう、森の奥で二人は巨大な蜘蛛アラゴグに出会います。秘密の部屋を守る怪物が噂されていますが、その怪物とはこの大蜘蛛だったのでしょうか。アラゴグは「いや、自分は無実で、ハグリッドが助けてくれた。怪物は我々クモが太古から恐れてきた生き物だ」と答えます。

二人は礼を言って帰ろうとしますが、アラゴグは「私の子供たちに新鮮な肉をお預けにはできない」と答えます。さあ、それからが大変！ 救出に駆けつけたロンの不思議の自動車でやっとのことで乗り込んだ二人は脱兎のごとく逃げますが、クモたちも負けてはいません。2m以上もあるクモの大群が二人を捕らえようとしています。

このクモの襲撃は、『ジュラシック・パーク』のヴェロキラプトルのようでした。いや、はや。

ハリーがクモを撃退する呪文は

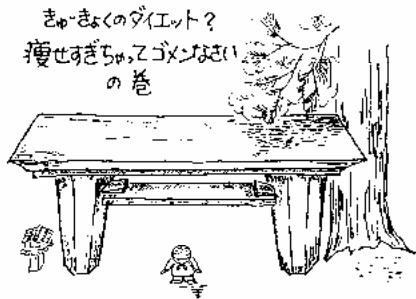
「アラニア・エグズメイ」というものでした。



アラニア・エグズメイ！

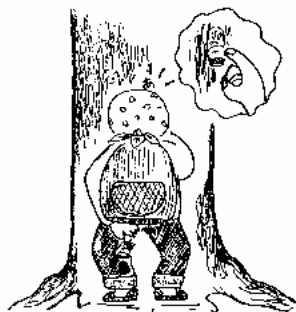
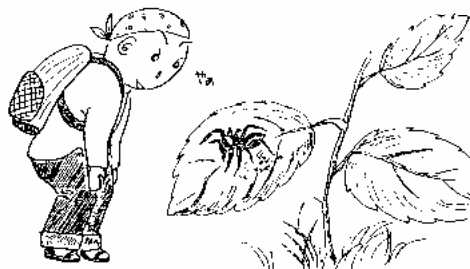
ぼんたんの おきらくも日記 No.1

きゅーまくのダイエット？
獲せすぢらち、ゴメンなさい
の巻

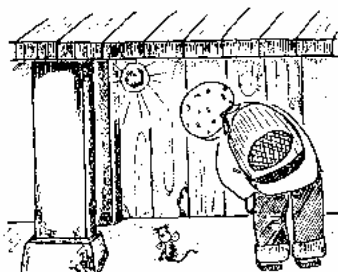


ときは西暦二千と一年神無月10月7日、ところは伊勢の宇治浦田、猿田彦神社の境内に寂しげに佇む熟女がひとり… うそつけ～！！ ハハ、ごめんね お気楽ぼんたん毎度のようにホントラケえ～とクモさがし。ううん、この日はクモだけじゃなくってね、神社のおひらきまつり、サル社コの大神さまに導かれて伊勢の国までやって来ちゃったのさ。お気楽ぼんたんも時には道に迷っちゃうこともあるってば。

人懐こいマジロハエトリ
君があいさつしてく
れた。カワイイ

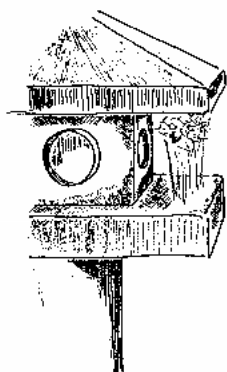


大きなクスノキの幹に
キノホリタゲモの巣。
空き家だったけど。

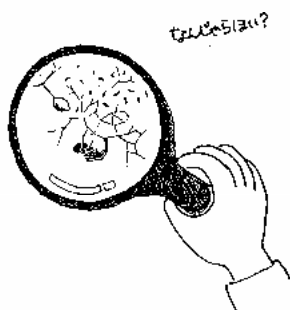


回廊の床下には
ヒラタゲモの丸い真綿
布団みたいなりっぱな
巣がひっついていたり

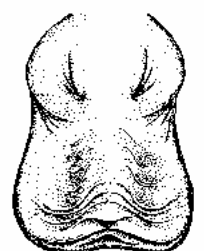
神社といえば石灯笼ははずせないでしょ。
むむっ、なにやらニオウぞ！



わわっ、ちっこい子グモがいっぱい
いるぞ。うう～む 網はオオヒメグモ、
でも 典型的なイソウロウグモのお座り
スタイルだし、おまけに卵のうはシロカネ
イソーローみたい…
なのに親グモも子グモもまっくらけじ
ゃん。コイツらいったい何者？

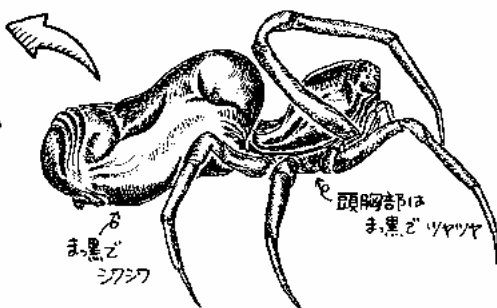


結局うちに連れて帰って
きちゃったよ。
親子はなればなれは、
ちょっとかわいそうだっ
たけどさ。ゆるせ



腹部を上から見たところ

見れば見るほど、へんな形。腹部の背中がシワ
ワで、しゃくれたようになってるし。でも、やっぱ
こりゃ イソーローグモの仲間だよなあ。そーだ！
しんかいあきらさんに聞いてみよつと。

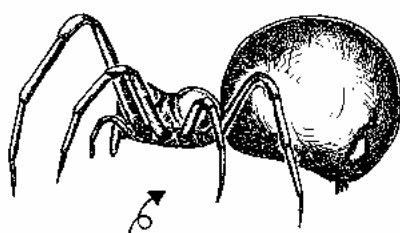


どれどれ、なにに、
ふむふむ、ほお～、ふ～ん

クロマルイソウロウグモ
だったのかあ。でもさあ…



クロマルイソウロウグモって



こんなじゃない？ ふつう。

しんかいさんの手紙によると、クロマルイソーローの腹部はいつもいつも図鑑に載っている、いか
にも「クロマル」ってふうに丸いわけではないんだそうです。餌を食べると丸くふくらみ、餌にあ
りつけない時や産卵後なんかは丸くないんだって。あつ、そっかあ、そーいえば前、飼って
たクモいろいろもはらべこ状態(飼主の怠慢で)の時とか、うおつ、卵産んじやってる！ てな時
なんかは、いかにも“痩せちゃった、哀れ～”って感じだったよな。うん。

なんでも、クモの皮膚は頭胸部と腹部では柔らかさが違うんだと。ちよつくらへんきょしちまつたい！
頭胸部の皮膚は上・外・内・中・下に分かれたクチクラの層が全部揃ってて、特に外クチクラは
“キチン”+“硬タンパク質”=“とっても硬い” のに対して、腹部は外クチクラが無いから柔らかい
んだって。そりゃそーだ、肉食動物のクモにとって餌を見つける

ことは good luck。食べられる時に食べ貯めしとくでしよ。

腹部が硬かったら、一度にたくさん詰め込めないじゃん。ね。

ところでクチクラって “角皮”とか“キューティクル”って意味らしい。

髪の毛みたいなものかな。誰かそこそこ詳しく教えてくださいな。

それにしても、猿田彦神社のクロマルのやつれ方といったら。涙…

ぼんやり眺めていたら、なんだか、ふつと思いついたんだ。

サル死コだ、サル死コのお面にそっくりだ！ きつとサル死コの大サマが、

迷えるぼんたんとこの不思議なクモに出会わせてくれたんだってね。みま



ガンググモ亜目の蜘蛛，続々発見される

新 海 明

ガンググモ亜目 Omoshiromorphae のクモが最初に記載されたのは 1988 年のことであった（新海 1988）。これ以後も日本の各地でこの仲間のクモが多数発見されているようだが，これを記載する研究者は皆無であった。先年の日本クモ学会の鹿児島大会の会場でもガンググモ亜目に属するとみなされるクモ類が数多く陳列されていたが，その分類に手を染めて深く研究する方はおられないようである。

筆者は，ガンググモ亜目の分類をこのまま放置してはいけな思考え，手元にある標本をもとに新たに日本で採集された 2 新種とアメリカからもたらされた 1 新記録種を記載したので報告する。

Omoshiromorphae ガンググモ亜目

Puppetidae ユビニンギョウグモ科

Puppet talantuloides (Folkmanis)

ユビイレオオツチグモ（新称）

図 1

このクモは 2001 年 8 月にアメリカに旅行した友人によってもたらされたものである。採集地はラスベガスのホテルのラウンジとのことであった。

体長は 18cm で頭胸幅は 7cm だった。全身やわらかく 100% ポリエステルで覆われているようだった。ただ，ペンで描いたような体毛状の模様があった（図 1）。頭胸部と腹部の区分は明瞭であった。第 1 脚は頭胸部からでていたが，第 2 脚以降は腹部下面に付随していた袋（ここに手を入れるのだが）からでていた。眼は 2 眼のみであった。これらは



図 1．ユビイレオオツチグモ

いずれもガンググモ亜目に極めてよくみられる特徴である。

腹部の末端に開口している袋の入り口から体内に手を挿入することができる。この穴は各歩脚内部にまで通じていた。これらは前報で紹介したパペットグモと全く同様な構造であったことから，ユビニンギョウグモ科に属することは明らかであった。ただし，パペットグモと異なりかなりリアルであった。

原産地は中国であるようだ

が、フォークマニスのパペットシリーズとしてアメリカや日本などに侵入して定着しているようである．今後は日本での分布を調べる必要がある．

Omoshiroidae ガンググモ科
Zenmaia monospina Shinkai 2003 n. sp.
ゼンマイトゲグモ

図 2

ガンググモ亜目を代表するもっとも典型的なクモであろう．本種も玩具売場から採集してきたものである．

体長は 6cm，頭胸部幅は 2.7cm であった．頭胸部は全体黒く，そこに黄色の線が 3 本横に入っていた．腹部は逆に全体が黄色でここに黒線が横に 5 本入っていた（図 2）．歩脚はこの亜目特有にみられるように頭胸部から 2 対，腹部から 2 対出ている．各歩脚は黒地に黄色の模様が断続的にあった．眼は 2 眼で赤かった．また，腹部の前方にはこの属によく見られる突起物があった．この突起物を強く巻き上げると，しばらくのあいだ 4 対の付属肢が同調するように動き続けるのである．この突起物は現在まで呼び名がなかったが，私は「ゼンマイ突起」と命名したい．これは種類によっては腹部の側面や下面にみられることもあるが，機能としては同じである．種小名の mono-は 1 を，spine は刺の意である．



図 2．ゼンマイトゲグモ

Taoruketidae ヌノジョウグモ科
Tenuguia jocomomola Shinkai 2003 n. sp.
テヌグイヒラタグモ

図 3-4

この科に属するクモは野外でかなり頻繁に見られるのであるが，採集例は少ない．とくに，人体などにまとわりついている場合には，その採集は極めて困難である．せめて，写真撮影による同定ができれば新属や新種がつつぎつつぎに記載されるであろう．筆者は，都会の雑踏の中や電車内で何度かこの科のクモを発見したが，その採集はためらわざるをえな



図 3(左) - 4(右) . テヌグイヒラタグモとその飼育状態

かった．ただ服飾店内にも時々分布していることから，ここで採集できれば記載などは極めて容易となろう．

外国で発見されたものは *Towelia* タオルグモ属に属するものが多いようであるが，本種は日本産の *Tenuguia* テヌグイグモ属に属すと考えられた（図 3）．このクモの仲間が占座している場所は布状の所が多く，本種も木綿の上であった．体長は 19mm でほぼ円形だった．頭胸部が小さくて見えないのか，あるいは腹部がないのかは不明である．また，体はヒトエグモやアワセグモよりも扁平であり，測定は不可能であった．これが和名の由来でもある．採集地は京都駅ビルの伊勢丹の寝具売場だった．2 頭採集できたが，占座場所の色が異なっていただけで，同種とみなされた．いつも，しおり糸をひきながら徘徊していて，この糸がとぎれることはないようである．採集してから現在まで洗面所と台所で飼育を継続しているが（図 4），ときどき手についた水を飲ませるだけで長期間生き続けている．ただ，この科に属するクモに共通な特徴と思われるが，洗浄をおこたると臭気を発することがあるので飼育の際には注意したい．

種小名の *jocomomola* はこのクモの占座している生地を販売した会社のブランド名である．

謝 辞

本稿をまとめるにあたり，谷川明男さんには原稿をお読みいただき貴重な助言をいただいた．ここに記すとかえってご迷惑かも知れないが，感謝いたします．

引用文献

新海 明 1988．日本産新亜目の一新種と一新記録種の記載．東京蜘蛛談話会通信，64：2-3．